

IXPE特集	ようやく切り拓かれたX線偏光天文学	玉川徹・郡司修一・三石郁之	222
	IXPE衛星でみたパルサー星雲	渡邊瑛里・水野恒史・郡司修一	233
特集：アルマ望遠鏡10周年 (3)	小質量星周囲の円盤における化学	相川祐理・大和義英・Gianni Cataldi・野津翔太	242
	アルマ望遠鏡が明かす遠方銀河のガスとダスト	稲見華恵	250
	ペルセウス座銀河団中心における冷たいガスとNGC 1275活動銀河核の活動	永井洋	257
シリーズ：海外の研究室から	ロチェスター工科大学大学院入試と現地での生活	野田千馬	266
追悼	海野和三郎先生	尾崎洋二・日江井榮二郎・加藤正二・小平桂一・祖父江義明・熊大閏 (劉彩品 訳)・米山忠興・湯淺學・柴橋博資	269
寄贈図書リスト			284
月報だより			284

---

**【表紙画像説明】**

IXPE 衛星の最初の科学観測天体として、超新星残骸カシオペア A が選ばれた。図は IXPE の偏光観測から求めた磁場の方位を示すマップ (線) に、Chandra 衛星によるカシオペア A の X 線画像 (水色) を重ねたもの。緑色の線の部分のみ  $3\sigma$  を超える有意度を示す。衝撃波により接線方向の磁場成分が圧縮されるので、磁場は接線方向に配位することが期待されていたが、磁力線は超新星残骸の外側に向かって、全体的に放射状に配位していることがわかった。今後のさらなる研究が期待される。(c) NASA/CXC/SAO, NASA/MSFC/Vink et al.